

事務局指定の書式で作成する

住まいの復興給付金

書式集

事務局指定の書式と記入見本です。

申請の際に添付が必要な場合は、こちらの書式をご利用ください。
住まいの復興給付金事務局のホームページからも、書式をダウンロードすることができます。



死亡または行方不明の被災住宅の所有者に代わり、住宅の補修工事を行った場合に、提出いただく書類です。下記の記入見本を参考に作成してください。
作成にあたっては、住まいの復興給付金事務局のホームページから書式をダウンロードするか、書式を切り取り、ご使用ください。

住まいの復興給付金制度

補修

被災住宅所有者との関係確認書

記入見本

記入日 令和元年5月7日 a

(代表)申請者の情報

住所 〒 900 - 000X
 宮城県〇〇市△△町5-5-5 b

氏名 復興 順一 復興

死亡または行方不明の被災住宅の所有者に代わり、住宅の補修工事を行ったので、給付申請します。については、第三者からの同様な申請等、異議があった場合、一切の責任を負い、それらに関わる手続きを行います。

<被災住宅の所有者の情報>

①	氏名	フリガナ フッコウ ススム	
		氏 復興 名 進	
②	被災時の被災住宅の住所	〒 900 - 000X 宮城県〇〇市△△町5-5-5 c	
③	生年月日	明治・大正・ 昭和 ・平成 20年8月1日	

<被災住宅の所有者に代わる者の情報>

- 被災時に被災住宅に居住していた者であること
- ②に居住する者であること

④	氏名 <small>※(代表)申請者氏名と同じ場合も記入</small>	フリガナ フッコウ ジュンイチ	
		氏 復興 名 順一 d	
⑤	①との続柄	長男 e	
⑥	生年月日	明治・大正・ 昭和 ・平成 50年4月10日 f	

※個人情報、本事業の目的の範囲内でのみ利用することとします。
※第三者から異議、申し立てがあった場合、本確認書及び添付された書類を開示することがあります。

事務局使用欄(申請者は記入不要)

令和3年6月版

- a この書類を作成した日付を記入してください。
- b 申請者(共同申請の場合は代表申請者)の住所、氏名を本人が記名・押印してください。
- c 被災時点の被災住宅の所有者(死亡または行方不明の方)の氏名とフリガナ、被災住宅の住所、生年月日を記入してください。
- d 被災住宅の所有者に代わる者の氏名、フリガナを記入してください。
※親孝行住宅再建支援の場合は、申請者の父母・祖父母等、直系尊属の氏名を記入してください。
- e 被災住宅の所有者と戸籍全部事項証明書等(P35参照)で確認できる続柄 c と d に記入した方の続柄)について記入してください。
- f d の生年月日を記入してください。

被災住宅の所有者である父母・祖父母等のために被災住宅の補修を支援した場合に、提出いただく書類です。下記の記入見本を参考に作成してください。
作成にあたっては、住まいの復興給付金事務局のホームページから書式をダウンロードするか、書式を切り取り、ご使用ください。

住まいの復興給付金制度

親孝行住宅再建支援申出書

記入見本

記入日 令和 元年 5 月 7 日 a

申出者本人の情報

住 所 〒 900 - 000X

宮城県〇〇市△△町 8 - 8 - 8

氏 名 復 興 順 一 復興

b

下記に記載する父母・祖父母等（被災住宅の所有者）が居住するための住宅の再建（建築・購入または補修）を支援したことを申し出ます。

<再建した住宅の居住者（被災住宅の所有者等）の情報>

①	氏 名	フリガナ フッコウ 氏 復 興 名 のぞみ	
②	再建した住宅の住所	〒 000 - 0000 千葉県〇〇市△△町 1 - 1 - 1 千葉〇〇ビューマンション B棟503	c
③	生年月日	明治 大正 昭和 平成 22 年 1 月 4 日	
④	申出者との続柄 <small>※直系尊属であること*</small>	<input type="checkbox"/> 父 <input checked="" type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> その他()	d

*直系尊属とは、申出者の祖先など先の世代にあたる人たちのうち、父母、祖父母らの血筋が直接つながっていることをいいます。（配偶者の直系尊属や、養祖父母も含まれます。）

※個人情報、は、本事業の目的の範囲内でのみ利用することとします。
 第三者から異議、申し立てがあった場合、本確認書及び添付された書類を開示することがあります。
 ※申出者は、本制度または国土交通省の「すまい給付金」制度と重複して給付申請することはできません。

事務局使用欄（申請者は記入不要）

令和3年6月版

- a この書類を作成した日付を記入してください。
- b 申出者の郵便番号、住所、氏名を本人が記名・押印してください。押印は、実印以外の認印、スタンプ式ネーム印でも可能です。電子印鑑は使用できません。
- c 被災時点の被災住宅の所有者等で補修した被災住宅に居住する者の情報（氏名、フリガナ、住所、生年月日）を記入してください。
- d 申出者との続柄について、該当する項目にチェックをしてください。

被災住宅を補修したことを、建築士または補修工事施工者に証明してもらった書類です。申請者本人が作成することはできません。被災箇所の被災状況（補修前）と完了した補修工事（補修後）の状況を確認した建築士または補修工事施工者に作成を依頼してください。作成の際は、専用の書式をホームページからダウンロードするか、書式を切り取り、「補修工事内容確認書（次ページ参照）」と共に作成してください。

住まいの復興給付金制度
記入見本

確認を行った者が記入。
※申請者は記入できません。

補 修 工 事 証 明 書

申請者	住 所	宮城県〇〇市△△町1-1-1		a
	氏 名	復興 順一		
所在地		宮城県〇〇市△△町1-1-1		
工事完了年月日		平成 令和 31年 4月 19日		

補修工事を行った被災箇所
補修工事を行った被災箇所をすべて記入し、被災箇所数に応じて（別紙）補修工事内容確認書をご提出ください。

番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。	番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。	b
1	1階リビングの床	6		
2	1階寝室の内壁	7		
3		8		
4		9		
5		10		

上記の被災箇所について、「住まいの復興給付金制度」の対象となる補修工事が行われていたことを証明します。

証 明 年 月 日	令和 △△年 □□月 ○○日			c
確認を行った者	工事施工者名 または 建築士事務所名	設計 一郎		
	所 在 地	宮城県△△市〇〇町3-3-3		
	電話番号	022 - 777 - □□□□		
	許可番号	※確認を行った者が工事施工者で、建設業の許可を受けている場合は、許可番号を記入してください。 建築業許可 <input checked="" type="checkbox"/> 国土交通大臣 () 第 () 号 いづれかに <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> () 知事 () 第 () 号		
	担当者名			

確認を行った者が建築士の場合は以下も記入してください。

確認を行った 建築士の情報	建築士免許	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士	d
	登録番号	123456 (登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合))			
	事務所の 種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士事務所	
	登録年月日	昭和60年10月1日	登録番号	宮城県知事登録 第00000000号	

事務局使用欄（申請者は記入不要）

令和3年6月版

- a 申請される方の情報(住所／氏名／所在地／工事完了年月日)を記入してください。
- b 工事を行った箇所を補修工事ごとに記入してください。補修箇所が10箇所以上の場合、この書式集から該当の用紙をコピーして記入してください。(※番号は2枚目：11番～、3枚目：21番～としてください。)
- c 被災箇所の補修工事を確認された方の情報（建築士の場合には、該当する項目に加え d の欄を含む）を記入してください。
- d 確認者が建築士の場合のみ記入してください。

被災住宅を補修した内容(補修箇所を補修したこと)を証明する書類です。
被災箇所毎に1枚ずつ必要です。
作成の際は、ホームページから書式をダウンロードするか、書式を必要枚数分コピーして、申請する被災箇所毎に作成し、「補修工事証明書(前ページ参照)」と共に提出してください。(申請者が作成することはできません。)


記入見本

別紙 **補修工事内容確認書**


確認を行った者が記入。
※申請者は記入できません。

確認を行った者 (補修工事証明書の記入者)	氏名 設計 一郎 設計 a
被災箇所 (部屋毎に記入)	被災した箇所を具体的に記入してください。 1F リビングの床
被災状況	被災した箇所の状況を具体的に記入してください。 浸水による床の腐食
補修方法	補修工事の内容を具体的に記入してください。(例:1F寝室の内壁の張替え工事等) 床の貼替え工事

補修工事前


b

補修工事後


c

事務局使用欄(申請者は記入不要)

必要に応じて、この台紙をコピーしてご使用ください。

番号

1

d

*「補修工事証明書」の「被災箇所」に記載の番号を記入してください。
令和3年6月版

- a 被災箇所の補修工事を確認された建築士または工事施工者の方の記名押印と補修工事の内容(被災箇所/被災状況/補修方法)を具体的に記入してください。
- b 被災箇所の補修工事前の写真を貼ってください。
- c 補修工事が完了した写真を貼ってください。
- d 「補修工事証明書」の「補修工事を行った被災箇所」に記入した被災箇所の番号を記入してください。



書式は次ページから 

補修

被災住宅所有者との関係確認書

記入日 令和 年 月 日

(代表)申請者の情報

住所 〒 -

氏名 印

死亡または行方不明の被災住宅の所有者に代わり、住宅の補修工事を行ったので、給付申請します。ついては、第三者からの同様な申請等、異議があった場合、一切の責任を負い、それらに関わる手続きを行います。

<被災住宅の所有者の情報>

①	氏名	フリガナ	
		氏	名
②	被災時の被災住宅の住所	〒 -	
③	生年月日	(明治) (大正) (昭和) (平成)	年 月 日

<被災住宅の所有者に代わる者の情報>

- 被災時に被災住宅に居住していた者であること
- ②に居住する者であること

④	氏名 ※(代表)申請者氏名と同じ場合も記入	フリガナ	
		氏	名
⑤	①との続柄		
⑥	生年月日	(明治) (大正) (昭和) (平成)	年 月 日

※個人情報、本事業の目的の範囲内でのみ利用することとします。
第三者から異議、申し立てがあった場合、本確認書及び添付された書類を開示することがあります。

事務局使用欄(申請者は記入不要)



こちらの書式を切り取るか、
コピーしてご記入の上、
提出してください。

親孝行住宅再建支援申出書

記入日 令和 年 月 日

申出者本人の情報

住所 〒 -

氏名 印

下記に記載する父母・祖父母等(被災住宅の所有者)が居住するための住宅の再建(建築・購入または補修)を支援したことを申し出ます。

<再建した住宅の居住者(被災住宅の所有者等)の情報>

①	氏名	フリガナ	
		氏	名
②	再建した住宅の住所	〒 -	
③	生年月日	(明治) (大正) (昭和) (平成) 年 月 日	
④	申出者との続柄 ※直系尊属であること*	<input checked="" type="checkbox"/> 父 <input checked="" type="checkbox"/> 母 <input checked="" type="checkbox"/> 祖父 <input checked="" type="checkbox"/> 祖母 <input checked="" type="checkbox"/> その他()	

*直系尊属とは、申出者の祖先など先の世代にあたる人たちのうち、父母、祖父母らの血筋が直接つながっていることをいいます。(配偶者の直系尊属や、養祖父母も含まれます。)

※個人情報、本事業の目的の範囲内でのみ利用することとします。

第三者から異議、申し立てがあった場合、本確認書及び添付された書類を開示することがあります。

※申出者は、本制度または国土交通省の「すまい給付金」制度と重複して給付申請することはできません。

事務局使用欄(申請者は記入不要)



こちらの書式を切り取るか、
コピーしてご記入の上、
提出してください。

補修工事証明書

申請者	住所			
	氏名			
所在地				
工事完了年月日		平成	令和	年 月 日

補修工事を行った被災箇所

補修工事を行った被災箇所をすべて記入し、被災箇所数に応じて(別紙)補修工事内容確認書をご提出ください。

番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。	番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

上記の被災箇所について、「住まいの復興給付金制度」の対象となる補修工事が行われていたことを証明します。

証明年月日		令和 年 月 日	
確認を行った者	工事施工者名 または 建築士事務所名	社印	
	所在地		
	電話番号	-	
	許可番号	※確認を行った者が工事施工者で、建設業の許可を受けている場合は、許可番号を記入してください。 建築業許可 <input checked="" type="checkbox"/> 国土交通大臣 () 第 () 号 いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> () 知事 () 第 () 号	
	担当者名		

確認を行った者が建築士の場合は以下も記入してください。

確認を行った 建築士の情報	建築士免許	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士
	登録番号	登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合)		
	事務所の 種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士事務所
	登録年月日		登録番号	

事務局使用欄(申請者は記入不要)



こちらの書式を切り取るか、
コピーしてご記入の上、
提出してください。

必要に応じて、この書式をコピーしてご使用ください。

住まいの復興給付金制度

別紙

補修工事内容確認書

建築士記入書式

※申請者は記入できません。

確認を行った建築士	氏名	印
被災箇所 (部屋毎に記入)	被災した箇所を具体的に記入してください。	
被災状況	被災した箇所の状況を具体的に記入してください。	
補修方法	補修工事の内容を具体的に記入してください。(例:1F寝室の内壁の張替え工事等)	

補修工事前

補修工事前の写真を
貼付けしてください。

補修工事後

工事箇所がわかるように
補修工事後の写真を
貼付けしてください。

事務局使用欄(申請者は記入不要)

番号

*「補修工事証明書」の「被災箇所」に記載の番号を記入してください。

令和3年6月版



MEMO

A memo sheet with 20 horizontal dotted lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page, providing a guide for text entry.

住まいの復興給付金事務局コールセンター

下記の専用ダイヤルからご相談ください。

フリーダイヤル:0120-250-460(無料)

[受付時間] 9:00～17:00 (土・日・祝日除く)

- 一部のIP電話などフリーダイヤルが繋がらない場合: 022-745-0420(有料)
- お電話の際は、かけ間違いのないようご注意ください。
- コールセンターでは、以下のようなお問い合わせを受け付けています。
 - ・住まいの復興給付金の制度(対象者、対象住宅、給付金額等)
 - ・給付申請に係る一般(申請書の入手方法、記入の仕方、添付書類等)
 - ・給付申請方法(提出期限等)

住まいの復興給付金事務局ホームページ

- ホームページでは、以下のような内容を確認できます。
 - ・住まいの復興給付金の制度(対象者、対象住宅、給付金額等)
 - ・給付申請に係る一般(申請書の入手方法、記入の仕方、添付書類等)
 - ・給付申請方法(提出期限等)

また、申請に必要な申請書、申請書の記入の仕方、申請の手引き、リーフレット等、各種書類をダウンロードできます。

<https://fukko-kyufu.jp>